



新しい時代の  
幕開けだ!!



koumaden

平成31年度 奥州水沢42歳厄年連

# 輝馬伝

謹賀新年

会報 第 参 号 平成31年1月



振り付けは振付部がそれぞれ毎週のように集まっては議論を重ね、ゼロから創造していったものです。ぜひ、その場でもいので早速歌って踊って見ましょう。みんな「ウオウウオウ」しようぜ!

新年あけましておめでとうございます。2019年、新しい年の幕開けです。そして、平成という時代も4カ月足らず。日高火防祭に向けた準備が最終段階に入るところには、新しい元号も発表されていることでしょう。

さて、本日1月1日は私たち輝馬伝にとって大きな節目の一つ「ご祈祷・総会・同窓会」です。この会報を手になされているところは、すでに男性陣は日高神社でのご祈祷を済ませ、すがすがしい気持ちで総会・同窓会会場に到着していることと思います。

総会などに続き開催される同窓会では、中学卒業時の恩師や来賓各位が見守る中、創作演舞が初めて披露されます。衣装は美術部、曲と歌詞は音楽部、

# みんなの最高祭りを!!



会長

阿部由起男 (東水沢中卒)



いたずら大好き野球少年。ひげを伸ばせば、中日の小笠原道大二軍監督に変身です。

「あべ印刷」の社長の傍ら、昨年まで水沢青年会議所理事長を務め、ついに厄年連の会長。その次は何を狙っているのでしょうか?

多忙な日々の影響なのか、最近は物忘れが激しく「髪を洗った後に、リンスをしたかどうか忘れて2度荒いしてしまう」とか。

輝馬伝発足から1年。「一人では大きなことができなくても、皆が集まることでそれが可能になるのが厄年の祭り。力を合わせて頑張りたいし、皆さん楽しんでもらいたい」。運営で困ったことがあったら、得意の手品で窮地を救ってくれそうです。

副実行委員長

高橋 幸博 (水沢中卒)



野球部の「真面目な少年」だったという。その真面目さは多分今もそう変わりないと思います。宴会の閉めのあいざつも、社会人の教科書にでも書いてあるようなスマートさ。旅行会社に勤務しており、お客様のあれやこれやの注文の嵐を受けながらも、冷静に対応している姿が目につかひます。

お得意先との付き合いも多いからか、ゴルフに行くこともしばしば(祭りが落ち着いたら、輝馬伝コンペやりましょうか?)。ただ、最近腰が痛いとのこと。無理に飛ばさず、楽しませよう。

「祭り成功に向け、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお祈りします」

祭典部門副統括

伊藤 学 (水沢中卒)



物静かだけど、頑固な一面もあった中学生。統括の大久保君とともに、祭りのメイン部分を担う4部門の統括にイそんでいます。

個性豊かな顔ぶれがそろっている4部門。「いろいろな考えを、またさまざまな職種の人たちと一つのものを作る楽しさを感じています」という。年が明ければ、祭りの春まではあつという間に時が過ぎ去ります。「参加してくる同級生が充実した2日間になるよう頑張ります」

祭典部門統括

大久保 陽 (東水沢中卒)



いつもキリッと決めたヘアスタイル。どっしりとした体つきは、大好きなプロレスの賜物か、それとも野球に明け暮れた中学時代に鍛え上げられたものなのか。営業マンとして駆け回る傍ら、ボウリングプレーヤーとしても活躍。一度その腕前を見てみたい。

落ち着いた風貌でありながら、本人は「思っていたより若いのかも」と、40歳の節目を実感している。創作演舞の核心部分と言える音楽、振付、美術、運行の各部を取りまとめ。各役員たちの声に耳を傾けつつ、自らの思いもしっかり伝える。「みんなが笑って楽しめる祭りにするために頑張りたい」と気を引き締めています。

音楽部長

辻山 学 (水沢中卒)



「ツジヤマガク」の名で、地元水沢を拠点にウクレレやギターを片手に活躍中。教室を開設しながら各地でコンサート、ワークショップを繰り広げる日々。その合間を縫って、輝馬伝のバンドメンバーをまとめています。

得意教科は美術、苦手教科は体育。しかしながら、バスケット部に所属し趣味は「ウルトラマラソン」とのこと。老若男女を楽しくさせる仕事だけに、笑顔は絶やさない。その表情はバクか、俳優の荒川良々さん似。

厄年を迎え、毎日を大切に使う思いが強くなってきたそうです。「いろんな思いが交わり合う現場を面白く楽しんでいます。みんなが主役になれる時間を過ごしたいです」

運行部長

伊藤 伸也 (水沢中卒)



中学校時代は本人いわく「ちょっと問題児?」だったとか。さて、いったい何があったのかな?

大勢の隊列、バンドメンバーや機材等を載せた「音車」「花車」を円滑に、滞りなく移動させるのが運行部最大の任務。警察など関係機関との連携や調整作業も必要になる大切な部署です。

「他の部署や一般会員の皆さんと仲良く協力しあって輝馬伝を盛り上げていきたいです」と気持ちを高めています。

さまざまな場面でメンバー全体に指示を出すこともあり、多くの人手が必要。「これからが忙しくなっていきます。今からでもOK! 沢山の部員を募集しています」。

振付部長

齋藤 誠 (水沢中卒)



「真面目な感じの中学生」だったという本人の談。学校中の女子全員に思いを寄せていた(?)と豪語する野球部員で、文系一般が得意教科でした。

麻雀が大好きな会社員。猫ほどわがままではないが、犬ほど忠実ではないと自己分析しています。

振り付けの一つ一つの動きに、さまざまな意味や思いを込めながらも、気持ちは若いがあちこちにガタが来ているかもしれない同級生を思い、「早く覚えられて、年相応の踊りにした」との配慮もばっちり。地元のみならず仙台や東京などにも指導に向かいます。

「未来のここ水沢に何を残すのかを思いながら、楽しい祭りにしたい」と奔走しています。

美術部長

千葉 良政 (水沢南中卒)



誰もが気になる衣装や「音車」「花車」のデザイン。こだわりを持ちつつ、スケジュールも意識する必要があります。「形の無いものを創って行くに当たり、悩み考える事が多々あるが、本番に向けて一歩一歩、確実に進んでいるのが楽しい」と前を見つめます。

トヨタ自動車東日本岩手工場に勤務する傍ら、プライベートではアマチュアボクサーとして活躍。山根元会長もびっくり(?)、何と東北の現役最年長選手なのですが、残念ながら規定により間もなくリングを降ります。

試合は「激闘型」だが、普段はおとなしい「狼の皮を被った羊」。祭りもボクシングも、最後のゴングが鳴るまで激闘を!

**実行委員長 及川 哲伸** (水沢南中卒)



体育の授業や昼休みに、みんなでバスケットをやるのが好き。ちょうどスラムダンクがはやっていたころでした。  
趣味は釣り。しかし、最近は忙しくて全然行っていないそうです。仕事はひたかみ福祉施設施設長補佐。本部業務、総務、人事、労務何でもこなします。  
「まずは自分が楽しむことを忘れないように」と言い聞かせつつ、周囲の盛り上げにも心を配る。「厄年は長年水沢に根付いてきたとても独特な風習。人のつながりや文化、経済的なつながりもあって続いているのだと思います。皆さんにとっても『面倒なこと』ではなく『チャンス』。たくさんの出会いがあなたを待っている！」

**副実行委員長 村上 望** (東水沢中卒)



剣道部で主将を務めていた、自称「さわやか少年」。料理好きで、輝馬伝の露店では「焼きそば部長」の称号を得ていました。  
輝馬伝メンバー御用達の飲み屋さん「Amaterass」の代表取乱役(?)。夜も遅い仕事のためか、どこでも寝られ25歳の厄年では会長の重責を担ったこともあり、祭りに掛ける思いは誰よりも熱く、喜怒哀楽すべてを知っている。「道のりは険しい……。しかし、みんなで楽しく踊って、うまい酒をみたい!」。時に厳しく、時にすてきな笑顔でみんなを盛り上げてくれています。

**事務部門統括 佐々木宏徳** (水沢中卒)



明るく社交的な卓球部員。アンケートの「中学校で好きだった人は」の設問は、恋愛事情を尋ねた設定だったが「理科の三浦先生」という変化球が返ってきました。  
スマホゲームにはまる奥州市職員。自らを動物にたとえると羊。本心を覆い隠しているからだとか。厄年の会議は淡々と進めています。家でやけ酒飲んでいないか心配です。  
「あと何年生きられるのかな?」と思うこともある今日このごろ。だからこそ、たった一度きりの舞台は悔いがないよう臨みたい。「大変だけど、やるしかない。たくさんの人と祭で盛り上がりたい。やっぱり同級生っていいなあ。」

**渉外部長 佐川 敬佳** (水沢中卒)



大船渡から水沢に転校してきた野球少年。奥州市職員や市議会議員が「大谷翔平Tシャツ」を着用して公務するのを提案した張本人でもあります。  
特技はマンガを描くこと。水沢公園の「お花見食堂」の裏側に取り付けられるボードに描かれているユニークなイラストも、佐川君の作品だとか(登場人物に同級生がちらほら)。もう一つの特技は、NHK盛岡放送局・上原康樹アナのものまね。ぜひ聞きたい。  
気分がいいと、馬のように速く走れるが、厄年を迎え体が固くなってきたとか。「いろいろ大変だとは思いますが、少しでもお役に立てればいいなと思っています。多数の参加をお待ちしています」

**総務部長 小野寺 紘一** (東水沢中卒)



「一言で言えば『変な奴』」だったという中学時代。今でも「変わっているのが、変わってない」と言われるそうです。それを裏付けるように、サバイバルゲーム、オンラインゲーム、航空祭の見物、釣り、登山と趣味が多彩。一体、何の仕事をしているかと聞けば、水沢テレビの技術マン。電柱に登って作業することもあるとか。  
「こういう『皆で何かを成し遂げる』というのがたまたま大好き」と厄年の活動を心から楽しんでいる。「輝馬伝においてよ。総務部においてよ。大丈夫、怖くない」と怪しい笑顔。やっぱり自他ともに認める、いい意味で「変わった奴」かもしれません。

**実行委員会  
幹部はこんな人!  
みなさんを感動の  
舞台へお連れします!!**



**事務部門副統括 熊谷 素** (水沢南中卒)



名字がそうだからというわけではないが、見た目は「熊」に似ていると言っています。美術部が衣装サイズを決定する際「あいつはどうするのか」と話題が上がっていました。  
中学校では応援団長に抜擢。運動会でみんなが組体操に難儀している中、一人だけ和太鼓をたたいて音頭取り。まさに役得です。  
奥州市役所の危機管理課に勤務。災害時は缶詰め状態になることも。ドライブで気分転換するとか。  
「42の厄年の人たちがってオッサンだなと思っていたら、ついに俺らが……」と複雑な心境。「同級生たちと活動できるせっかくの機会なので、楽しみたいと思います」

**広報部長 児玉 直人** (水沢南中卒)



作曲家・滝廉太郎のような、おとなしく見るからに運動が苦手な風貌は、中学時代から変わらず。当時は視聴覚委員で、隔離部屋のような学校の放送室には生徒会執行部の友人たちもよく訪れ、愚痴の一つ二つを聞いてあげることも。小さい頃から鉄道が好きで、現在は鉄道模型サークルの事務局長。昔から裏方的な仕事をするのが大好きな性格なのかもしれません。  
25歳のときは不参加で、広報部長を依頼され正直戸惑いも大きかったが、胆日新聞社の記者という職業柄、広報紙作成やSNSでの情報発信など広報部の仲間と奔走中。「広報部員がレンズを向けたら、皆さん最高の笑顔をよろしく願います」

**財務部長 千葉 博美** (水沢南中卒)



実行委員会部長職の紅一点。8つの部の中で最少人数ながら、背負う責任は計り知れません。卒業した高校の校訓にあるがごとく「明るく、清く、真っ直ぐに」をモットーに(?)、輝馬伝の全財産を責任もって管理しています。  
地元金融機関にお勤めということもあり、信頼度と安心感はずばり。お財布の中身に困ったら「Face to Face」で相談のにつてくれるかもしれません。  
「あまりお伝えすることもないので……」と遠慮され、写真も夏の臨時総会の時のもので構わないという本人たつての要望。みなさん、会費納入は忘れずに!

# 遂に完成だ！輝馬伝ポスター！！

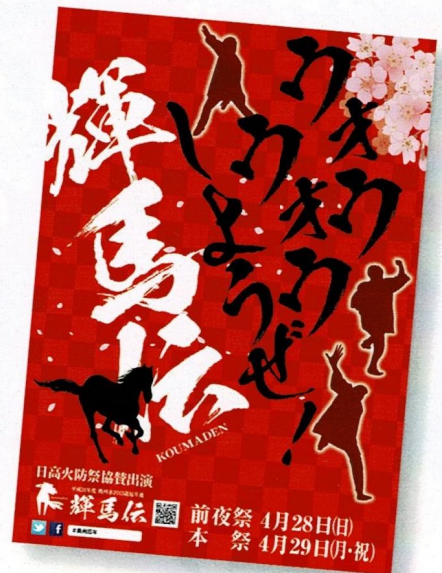
1月1日の「総会・同窓会」に合わせ、協賛事業所などに掲示していただくポスターが完成しました。一見、普通のポスターのように見えますが、なんと裏と表でデザインが異なるリバーシブルなのです。長年の伝統を誇る水沢の厄年連の中で、おそらく、たぶん、いや間違いなく「初」だと思えるスタイル。広報部と実行委員会全体との思いを見事にかなえてくれた妙案です。どっちが、表か裏かなんて関係なし！



今年しか  
できない!?

リバーシブル

常識を覆す  
「輝馬伝ポスター」



夜桜舞い散るデザインのはうは、春祭りらしい雰囲気漂います。中央の馬のシルエットには反転させた「左馬」の文字を記しています。馬の字が逆さに書いているので、読み方も逆さにして「まう」となり、「おめでたい席での舞(まい)」を連想させるとのこと。「左馬」は商売繁盛や福を招く縁起の良さを表現したものです(「印刷ミスだ」とクレーム入れないでね!)

背景に浮かぶ月をご覧ください。本物の月にはないはずの、何かが見えますか?じつは「羊」がうっすらと描かれているのです。輝馬伝には1~3月生まれの「未年」のメンバーもおります。未年の仲間たちと一緒に祭りを盛り上げようという願いを込めています。(ちなみに「月のひび」という映画が実際にあるようです)

もう一方のデザインは、2020年東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムにも採用されている市松模様をモチーフにした真っ赤な背景が印象的。「ウォウウォウしようぜ!」の意味は、同窓会の席上で明らかになることでしょう。こちらにも桜や馬をアレンジしています。

馬のほかにも人間のシルエットが、どちらのデザインにも見えますね?これは輝馬伝振付部のみなさんが踊っている姿を実際に撮影しアレンジしたものです。どれが誰かは本人のみぞ知る?

趣が異なる2種類のデザインが楽しめる輝馬伝のポスター。お店や職場の雰囲気に合わせてお好きなほうを選んで掲示してもよし、気分によってその都度変えてもよし、電車の中吊り広告のように天井からぶら下げてもよし。協賛事業所の皆様にも楽しんでもらえるようなポスターに仕上げました。

## 第3のポスター!?

活用方法はもうご期待!!



インパクト大!!

ポスター案には広報部内、また周囲のみなさんからもいろいろなアイデアをいただきました。

そのうちの一つ、祭典副実行委員長村上望君の作品は、今後ある形で活用予定です。お楽しみに。

## 会費納入のお願い

輝馬伝の運営は皆さまからの「会費」で行われています。ぜひご協力を願います。42歳厄年連の祭典関係にとどまらず、今後予定されている49歳厄年、60歳還暦にかかる諸行事や案内等にも活用するものです。

※日高火防祭等へ参加するための「祭典参加費(衣装、アルバム、当日の飲食費用)」ではありません。祭典参加費のお願いについては別途ご案内させていただきます。

■会費金額:5,000円 ■振込先:水沢信用金庫 本店 普通預金 450057

■口座名義:平成31年度奥州水沢42歳厄年連輝馬伝

※振込手数料は別途ご負担願います。

※会費納入は口座振込のみで対応しています。現金での直接のやりとり、上記以外の口座での支払いは行っていません。

※詳しくは、輝馬伝ホームページ内「会費納入のお願い」をご覧ください。

今年が雪が少ない冬のようにですが、冬道運転はくれぐれもご注意。厄年の活動も様々な決り事や対応が増えてきます。特に役員を務める人たちは、「あれもしなければ、これもしなければ」と頭の中がいっぱいになりがちです。注意が散漫となり、事故を起こす危険性が増します。

慌ただしさが増してくるからこそ、「いいぞ、大丈夫」「慌てなくてもOK」そんな一言をお互いに掛け合いたしましょう。

2月ごろから、いよいよ協賛金集めが始まります。また、祭典への参加案内と会費の振り込み依頼もスタートします。

お金が動く中で避けたいのは各種トラブル。特に最近では「高齢者以外」を狙った特殊詐欺も増えているそうです。輝馬伝や厄年活動をかたづけたい行為や各種勧誘、金銭要求にはくれぐれも注意してください。不審な行為に接した場合は、輝馬伝役員などにご一報ください。

同窓生や気の合う友人と楽しいひと時を過ごした時は、つい気持ちも大きくなってしまふもの。しかし「ちょっとぐらゐの運転しても」「すぐ近くだから」「代行頼むのが面倒」とハンドルを握ってしまつたらアウトです。

飲酒運転での事故は、相手への損害はもちろん、自分自身、家族、職場に対しても取り返しのつかない状況を引き起こします。また、もし「厄年の活動で……」というのが発覚した場合は、準備を一生懸命してきた仲間たちや地域全体にも大きな迷惑をかけることになります。人生の折り返し地点とも言われる42歳の厄年。これからまだまだ楽しいこと、やらなければいけないことがあるのに、ここで「終わりにしたいですか?」

今年が雪が少ない冬のようにですが、冬道運転はくれぐれもご注意。厄年の活動も様々な決り事や対応が増えてきます。特に役員を務める人たちは、「あれもしなければ、これもしなければ」と頭の中がいっぱいになりがちです。注意が散漫となり、事故を起こす危険性が増します。



飲酒運転は犯罪です!  
気の緩みにご用心。  
冬道運転や詐欺行為にも。